

#### IV-1 【タスクの発表】

1. 競技タスクは参加選手の技能に応じたものとする。
2. タスクは、気象条件等を考慮し、競技開始前にブリーフィングで競技委員長が発表すること。また、同時に公式計掲示板（タスクボード）にもタスクを掲示すること。
3. 掲示する項目は、少なくともタスク内容と距離、デパーチャーパイロン、ゲート（デパーチャー）オープン時間、ゲート（デパーチャー）クローズ時間、スタート方法とインターバルタイム、各シリンダーの半径、GAPパラメーター、タスクフィニッシュ時間、タスクレポート時間、大会本部電話番号、指定旋回方向とする。

大会名		日付
タスク		
デパーチャーパイロン		タスク距離
ゲートオープン	インターバルタイム	
デパーチャーオープン		
ゲートクローズ		
デパーチャークローズ		指定旋回方向
GAPパラメーター	タスクフィニッシュ	
	タスクレポート	
	大会本部電話番号	

#### IV-2 【ミニマム距離】

1. 競技のミニマム距離は 6km とする。

#### IV-3 【タスク】

1. タスクおよびタスク距離は、GAPパラメーターの Nominal Goal(%)を満たすように設定する事が望ましい。

#### IV-4 【競技時間】

1. 選手は、ゲートオープン時間からゲートクローズ時間の間に競技を開始すること。
2. ゲートオープン時間前の競技フライトのためのテイクオフはできない。
3. ゲートクローズ時間以降の競技フライトのためのテイクオフはできない。
4. オープンウィンド等を設ける場合、ゲートオープン前にこれらがテイクオフするための時間を設けることができる。
5. オープンウィンドの選手は、条件の如何に関わらず、設定された時間にテイクオフすること。設定された時間が経過した場合、またはテイクオフをキャンセルした場合は、列の最後尾に回らなくてはならない。

#### IV-5 【テイクオフ方法】

1. テイクオフ方法は、フリーテイクオフとランチオーダーを規定しておく。
2. ただし各エリアの状況に応じて、独自の方式を規定することも可能とする。

#### IV-6 【フリーテイクオフ：セットアップゾーン】

1. 機体は役員の指示があるまでセットアップしてはならない。
2. 前日までの成績順に決められた（選択した）場所で機体をセットアップすること。初日・同順位者に関しては、ハン

ググライディングシリーズのゼッケン順とする。

3. すべての選手がスタンバイゾーンに進入できるように通路を確保すること。
4. 成績上位の選手が下位の選手よりも、先にスタンバイゾーンに侵入する権利を持つこととする。
5. 選手はフライヤー精神に則り、譲り合いの気持ちでスタンバイゾーンに並ばなくてはならない。

#### IV-7 【フリーテイクオフ：スタンバイゾーン】

1. スタンバイゾーン内は一列になり、先頭の選手から順次テイクオフゾーンに進むこと。
2. スタンバイゾーン内のすべての選手がテイクオフゾーンへの進入を拒否した場合、このゾーンに留まることはできるが、定員が超過した場合は、超過人数分だけ先頭より順次テイクオフゾーンに進むこと。
3. スタンバイゾーン内すべての選手が留まっていたが、テイクオフゾーンへの進入希望者が出た場合、先頭より順にその選手までが、テイクオフゾーンへ進むこと。
4. スタンバイゾーンの列がセットアップゾーンまで延びた場合、IV-6 に準ずる。

#### IV-8 【フリーテイクオフ：テイクオフゾーン】

1. テイクオフゾーンに入るには、選手はスタンバイゾーンを通過しなければならない。
2. テイクオフゾーンでは、選手は一列に並ぶこと。
3. テイクオフゾーンにいる選手が単数の場合、選手は好きな時にテイクオフできる。
4. テイクオフゾーンにいる選手が複数の場合、2分以内にテイクオフしなければならない。
5. 何らかの理由によりゲートクローズになった場合、先頭の選手は、再びゲートが開いた後2分以内にテイクオフしなければならない。
6. テイクオフゾーンは割り込み、順列の入れ替えは禁止とする。

#### IV-9 【ランチオーダー】

1. あらかじめ決められた順番で選手はテイクオフすること。
2. あらかじめ決められた順番をキャンセルした選手は、決められた順番の最後尾にまわされる。

#### IV-10 【リフライト】

1. 競技可能な時間内であれば、リフライトは何度してもよい。
2. ただし、その最終フライトが競技における得点の対象となる。
3. リフライトする場合、その前のフライトのトラックログを消去すること。

#### IV-11 【ゴール】

1. ゴールは目視可能な地上のラインのほか、GPSに示される座標を中心としたラインまたはシリンダーとする。
2. ゴールには必ずゴール役員を置くこと。ゴールした選手はゴール役員の指示に従うこと。
3. ゴールした選手はゴール役員に自己申告すること。
4. ゴールまたはその近くにLDエリアを確保し、吹き流しを設置すること。
5. 地上のゴールラインの場合、最低50mラインを設置することが望ましい。
6. ゴールラインの場合、最終WP方向からラインを通過すること。

#### IV-12 【アウトサイドランディング】

1. 最初に身体の一部が接地してから、安全に停止するまでの全軌跡が、インサイドゾーンにある場合をインサイドランディングとし、それ以外はすべてアウトサイドランディングとする。
2. アウトサイドが認められている場合はベストポジションを採用すること。
3. アウトサイドが認められていない場合、LD指定地ならばベストポジションを採用すること。

4. アウトサイドが認められていない場合で、指定地外の場合は最終 WP までの距離または大会規定に準ずる。

#### IV-13 【競技終了報告】

1. 競技参加受付を行った選手は、安全確認のため、競技終了の報告を大会本部に行くこと。
2. ゴールした選手は、ゴール役員の確認をもって競技終了報告とすることができる。
3. 競技終了報告はタスクフィニッシュタイムまでに行わなければならない。
4. この時間は原則として、タスクが十分にこなせるだけの時間をとって設定すること。
5. 指定時間までに報告がない場合、この選手は減点対象となる。
6. ランディングクローズ時間は設定してはならない。

#### IV-14 【競技記録提出】

1. 選手は、そのフライトの得点を得るために、GPS のトラックログをタスクレポートタイムまでに提出すること。
2. この時刻は、十分余裕を持った時刻を設定することが望ましい。

#### IV-15 【時間の計測】

1. 飛行時間は、スタートからゴールまでを計測し、秒単位とする。

#### IV-16 【スタート】

1. スタートはインターバルエアスタートもしくは一斉スタート、Elapssed タイムとする。
2. デパーチャーのオープン時間は最大 90 分とする。
3. スタート時間前にスタートした場合、これをフライングとする。この場合、フライングした選手に付与される得点は距離得点のみとする。フライングした選手は GPS 提出時に申告すること。

#### IV-17 【ゴール時間】

1. 地上のゴールラインの場合、ラインの上空を最終パイロン方向から機体の最先端が通過した時間とする。
2. GPS 上のゴールラインの場合は、ラインを通過した時間とする。前後のログの記録から時刻を判定する。
3. ゴールシリンダーの場合、上記 2 と同様とする。

#### IV-18 【シリンダー】

1. ウェイポイント (WP) のシリンダー半径は 400m とする。
2. デパーチャーポイントのシリンダー半径は 400m 以上とする。

#### IV-19 【距離の測定】

1. ベストポジションを採用するかどうかは、IV-12 に準ずる。
2. 次の WP に対して、最も近づいた GPS 上の軌跡のポイントをベストポジションとする。
3. LD 場所前後の WP を直線で結んだ距離から、次の WP とベストポジションまでの距離を引いた距離を引いたものをその選手の飛行距離として換算されることとする。
4. 選手のフライト距離は、テイクオフあるいはデパーチャーポイントから、各指定パイロンのシリンダー間、そしてゴールまたは LD した地点までの距離を加算したものとす。

#### IV-20 【得点計算】

1. 得点計算式は GAP スコアリングシステム (GAP2002) とする。
2. 判定及び集計ソフトは FS、または同等のものとする。

#### IV-21 【GAP パラメーター】

1. GAP2002 のパラメーターはハンググライディングシリーズにおいて固定とする。
2. GAP2002 のパラメーターは

Nominal Distance 35km

Minimum Distance 6km

Nominal Goal 20%

Nominal Time 1h

IV-22 【救急着陸得点付与】

1. 不測の事態が発生した選手を救済するために着陸した選手に対して、得点を付与することができる。
2. 大会初日は選手全員の得点の平均点。2日目以降は選手本人の平均点とする。
3. ただし、事態によって競技委員長の判断とする。

IV-23 【無線機】

1. 参加選手は大会主催者より貸与されたスカイレジャー無線を携帯しなければならない。
2. デジタル航空無線機を所有・携帯する選手に関してはこの限りではない。
3. 選手はフライト中は、大会主催者の指示が無線機により聞こえる状態でなければならない。